

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	社会教育委員会運営事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

[事業の概要・現状・課題]	
<p>事業概要と現状社会教育委員が社会教育に関し教育委員会に助言するため、下記の職務を行う環境を整える。</p> <p>①社会教育に関する諸計画を立案すること          ②定時または臨時の会議で教育委員会の諮問に応じて意見を述べること          ③これらのために必要な研究調査を行うこと</p> <p>町民の中で「社会教育委員」の認知度が低い状況にある。社会教育委員の役割の周知や地域学校協働活動などへの参加も含め、社会教育委員活動の「見える化」を進めていく。</p>	

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]

実践する社会教育委員として、少年教育活動を始めとする各社会教育事業等へ参加してもらい、社会教育委員活動の「見える化」を進める。  
 また、社会教育事業への意見や提案を活発にもらえるように、十勝管内社会教育委員等研修や北海道社会教育研究大会等の各種研修会への参加促進などにより知識の向上を図る。  
 なお、令和7年度は委員の改選期であり、新たに多方面で活躍する方の参画を行い、社会教育委員の活性化を目指すところである。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						/
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	297,204	431,097	514,014	836,000	836,000	
	事業費計	円	297,204	431,097	514,014	836,000	836,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	家庭教育学級活動支援事業	所属 部門	生涯学習課課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

[事業の概要・現状・課題]	
家庭教育学級への支援(補助金の支出と学習内容に関する助言)及び、家庭教育をテーマとした講演会等を開催している。 共働き及び少子化など生活スタイルの変化により家庭での孤立化、コミュニティの希薄化が生じている中、親が家庭教育の重要性を認識し、自発的・計画的・継続的かつ集団的に学習および仲間作りを行う役割を担う学級運営を支援する。	

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]	
親同士のつながりだけでなく、学校や地域と連携した活動が重要となっていくため、学校や地域と連携して地域全体で子育てができる環境を整備する。 各学級と「家庭教育」及び「家庭教育支援」について共通認識を持ち、連携して子育て世代の仲間づくり、家庭教育の充実を図る。	

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						/
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	88,788	232,076	248,090	352,000	352,000	
	事業費計	円	88,788	232,076	248,090	352,000	352,000	

2025 年度（ 2024 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	少年教育活動運営事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約	ジモト大学の積極的推進			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマガラの村キッズキャンプ」、ジュニアリーダーコース派遣、フレンドリーコンサート、子どもわんぱくキャンプ、メモオロ太鼓保存会少年の部活動報償、寺子屋めむろ夏・冬、芽室ジモト大学等
2. 対象(何を対象にしているか) 芽室町内在住の児童・生徒
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 異なる年齢や地域間の交流を通じてリーダーを育成する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 各種体験活動や研修事業をとおして、児童生徒の豊かな心の育成を図る。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定

(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 事業数	回
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 町内の児童生徒数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 町内の児童生徒数のうち事業に参加した人数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 児童生徒のうち事業に参加した者の割合	%
②	
③	

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 【全体】 様々な体験活動をととして、子どもたちの豊かで健やかな心を育む。 集団生活をとおして形成される協調性や自然体験の中での経験が、子どもたちの発達段階ごとの成長に影響を持つと考えられることから、その重要性が求められる。 少年期に地域での豊かな体験活動の機会を持つことにより、郷土愛の醸成を図る。 【ジモト大学】 ①地域連携の強みを活かす教育プログラムとしての質の向上 ②参加生徒層の拡大 ③地域⇄学校の連携体制の構築 ④持続可能な事業展開の基盤確立	2. 今後の取組 (2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法) 【全体】集団生活、自然体験、異年齢交流等、地域での豊かな体験活動の実施 【ジモト大学】 ①・多様な地域住民との協働による社会参加活動の推進 ・地域おこし協力隊制度による専門的人材の活用 ・成長過程に合わせた探究的アプローチの確立(設定型、生徒提案型プログラムの展開、放課後居場所プログラムとその他プログラムの運動) ②・学校(授業/部活動等)との連携 ・登録制度の運用及びアンケート実施,中学生対象地域クラブ的展開の検討 ③・担当者同士の学び合いの場及び接続機会の創出(芽室ジモト大学フォーラム/探究成果発表会) ④事業構想資料作成(体制整理,評価・検証方法検討)・資金調達に関わる調査・検討,委託事業設計案作成(仕様書・見積設計)
---	--

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円			556,325	800,000	800,000
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円	409,854	736,460	1,118,072	1,313,000	1,313,000
	一般財源	円	4,412,335	3,283,515	6,646,285	7,703,000	7,703,000
	事業費計	円	4,822,189	4,019,975	8,320,682	9,816,000	9,816,000
活動指標	①	回	7	10	10	10	10
	②						
	③						
対象指標	①	人	1,672	1,535	1,489	1,460	1,460
	②						
	③						
成果指標	①	人	122	279	528	528	528
	②						
	③						
上位成果指標	①	%	7.3	18.2	35.5	36.2	36.2
	②						
	③						

2025 年度（ 2024 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	柏樹学園開催事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約	高齢者等活き活き推進事業			

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>65歳以上の町民を対象に、年間を通じた学習プログラムを作成し、提供する。 月に1～2回程度の通常の学習日には、午前は学習(聴講)、午後は実技(クラブ活動)を行う。その他、修学旅行や学園祭などの行事も行う。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>町内在住の65歳以上の方</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>仲間とともに生き生きと楽しく学び、交流してもらおう。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか)</p> <p>柏樹学園での活動を通して、生きがいのある豊かな人生を送ってもらおう。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	活動時間	時間
②	学習成果の発表	回
③	クラブ数	クラブ

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	65歳以上の町民	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	参加人数	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	入園する割合	%
②		
③		

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>① 柏樹学園生の減少、高齢化 ② 地域人材の発掘、育成 ③ ニーズにあわせた学習機会の創出 ④ 高齢者人口の増加と多様化への対応</p>	<p>2. 今後の取組 (2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法)</p> <p>① 新たな入園生の確保に向けた、生きがいや自己有用感の育成につながるPR活動の実施 ・魅力ある講義の開催、充実したクラブ活動の実施、ニーズの把握及び1日体験入園の実施(柏樹学園) ・保育園児との触れ合い授業等による外部との関わり ② 学校支援ボランティア等を通じた地域学校協働活動への案内 ・コミュニティスクール等の社会参加を促し、高齢者の経験、知恵等を生かした活躍の場の提供 ・公民館、体育施設での講座等を通しての人材の育成、発掘(指定管理者や他課との連携) ③ 満足度を高める取り組みの継続及び、社会教育主事による行政と各種団体等との橋渡し役 ・上記人材を活用した、新たなクラブ活動の創出(学園生の増加) ・令和6年度において、新たに全学園生を対象としたポッチャ大会が好評であったことから、満足度を高める取り組みの継続 ④ 他市町村の取組を参考とする ・他市町村の同様事業の事例確認 ・役員同士等との情報交換機会の提案</p>
--	---

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円	308,000	256,000	278,000	260,000	260,000
	一般財源	円	1,006,577	854,811	982,431	1,585,000	1,585,000
事業費計		円	1,314,577	1,110,811	1,260,431	1,845,000	1,845,000
活動指標	① 時間		57	57	54	57	57
	② 回		2	2	2	2	2
	③ クラブ		10	10	11	11	11
対象指標	① 人		5,493	5,481	5,452	5,452	5,452
	②						
	③						
成果指標	① 人		136	128	136	136	136
	②						
	③						
上位成果指標	① %		2	2	2	2	2
	②						
	③						

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	二十歳を祝う会開催事業	所属 部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

[事業の概要・現状・課題]	
二十歳を迎える町民等を対象とする式典の実施。出席者全員での記念撮影、中学校時代の恩師らを囲んでの交流会を開催している。民法が定める成人年齢が令和4年度から18歳に引き下げられたことを受け、従前20歳に達する年度の1月に実施していた成人式について、対象者や実施時期について検討した結果、民法改正後も20歳に達する年度で式典を開催することとした。 そのため、令和5年1月開催分から名称を「二十歳を祝う会」に変更し、開催している。	

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]
芽室町に愛着を持ってもらえるような企画の実施。 令和3年度から毎年町内3中学校の中学3年生在籍時に5年後の自分へのメッセージを作成して写真を撮影。それを動画編集し、5年後(令和9年1月)の式典で上映する企画を町内3中学校に提案し、実施している。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						/
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	263,006	236,837	222,522	291,000	291,000	
	事業費計	円	263,006	236,837	222,522	291,000	291,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	地域子ども会育成連絡協議会支援事業	所属部門	生涯学習課課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

[事業の概要・現状・課題]

事業の概要  
 ◎地域子ども会育成連絡協議会への補助金の支出  
 ◎地域子ども会育成連絡協議会の事務局業務  
 ・単位子ども会への活動助成金の交付  
 ・わくわく体験塾の開催  
 ・西部十勝子ども会交流会への参加

現状・課題  
 ・子ども会加入者数の減少等により、活動を休止する単位会が年々増えてきている。  
 ・地域で子どもを育てるという意識・機運が低下している。

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]

- ・単位会の現状把握(活動内容、年齢構成、役員の選出方法等)
- ・主催事業(わくわく体験塾)の開催
- ・町内会関連組織(魅力創造課)との情報共有及び連携

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	412,990	307,769	169,000	374,000	374,000	
	事業費計	円	412,990	307,769	169,000	374,000	374,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	青少年健全育成協議会支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選じた理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

<p>【事業の概要・現状・課題】</p> <p>町民集会の開催、PTA連合会との合同研究大会の開催、街頭巡視活動、広報誌の発行、3つの心運動の推奨に係る取組を実施している。</p> <p>なお、毎年、会員にアンケートを実施し、会の活動内容の検証・見直し等を行って。2021年度から、専門委員会の体制を指導育成委員会、健全育成委員会、広報調査委員会の3体制から指導育成・健全育成を合併した新たな健全育成委員会、広報調査委員会の2専門委員会へ見直した。</p> <p>※「子ども110番の家」の依頼・旗の設置に関わる業務については、2021年度から環境土木課に移管。</p>
---

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]

2022年度以降の町民集会については、PTA連合会と連携して開催し、運営の効率化及び集客数向上を図っている。

また、2022年度から新たに「SDGsの理念」を推進する取組として、3つの心運動のポスター、標語の募集について「SDGs」の周知に係る内容も含めて募集している。

なお、青少協の広報活動について、広報誌や新聞折込により周知していたが、掲載スペースの制限及び新聞購読者の減少などの背景から、ポスティングを活用した全戸配布を実施している。

特別巡視活動(町内イベント等の巡回)について、無償による活動としていたが、夜間・休日の活動であるため、2024年度から有償活動に変更した。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円					
	一般財源	円	348,402	584,917	584,971	585,000	585,000
	事業費計	円	348,402	584,917	584,971	585,000	585,000

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	芽室町PTA連合会活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

PTA連合会への活動費の助成。  
 会の活動内容は、道内・管内各種研修会への参加、視察研修の実施、研究大会・役員交流会などの開催。  
 2020年度以降、青少協町民集会和連携し、研究大会を実施している。

〔2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法〕

各単位PTA間の交流・連携促進のために、社会情勢を捉えつつ安全面に配慮した会の運営を支援していく。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						/
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	86,166	369,846	418,140	559,000	559,000	
	事業費計	円	86,166	369,846	418,140	559,000	559,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	社会教育協会連絡協議会活動支援事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

[事業の概要・現状・課題]	
単位社会教育協会に対して活動助金を交付する等の支援を行うほか、協議会の事業として地域づくり研修会を開催し、単位協会同士の交流や情報交換の機会を提供している。 協議会には令和7年4月時点で13単位(最大16単位)が所属し、地域での会員戸数の減少や少子高齢化の影響により活動規模の縮小に伴い、休会となる単位協会が増加傾向にあり、年間行事が総会と環境整備のみとなっている協会もある。	

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]

協議会事業として実施してきた視察研修会は、学習スタイルとして時代に即しているか疑問との意見を受け、2022年度から中止し、様々な講師を招いての地域づくり研修会を実施している。  
 今後の社会教育協会の在り方や補助金額の内容についても、各単位会の現状や意見を聴取しながら再構築に向けた検討を進める。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						/
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	624,537	537,496	561,198	600,000	600,000	
	事業費計	円	624,537	537,496	561,198	600,000	600,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	文化財保護事業	所属部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

[事業の概要・現状・課題]

芽室町内の文化財保護及びその活用に向けた方策を審議するため、文化財保護審議会を開催する。  
町指定天然記念物である芽室公園のカシワ林の保護や文化財保護に関する意見交換を継続して実施する。

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]

町として今後保護すべきと考える文化財の掘り起こしに向け、審議委員が他自治体での取り組みなどを知る機会を設けるなど、議論の活発化を図るための取組を行うとともに、併せて郷土資料の展示・保管施設であるふるさと歴史館の利活用に関する議論を行う。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	11,158	11,158	17,758	19,000	19,000	
	事業費計	円	11,158	11,158	17,758	19,000	19,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	芸術鑑賞会等開催事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約	「一流」を見て、聴いて、学ぶ			
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

[事業の概要・現状・課題]	
町民に対して、日頃の文化活動の成果を発表する機会である町民文化展を開催するほか、音楽や伝統芸能、演劇など芸術に触れる機会を提供するため、各分野のプロ(専門家)を招いての文化芸術鑑賞会を開催する。 なお、文化芸術鑑賞会の演目選定にあたっては、より町民のニーズを反映することを目的に2019年度から町民で構成される実行委員会を主体に検討を行っている。	

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]	
・文化芸術鑑賞会の演目選定にあたっては、2019年度から実行委員会形式とし、町民ニーズや目的意識、費用対効果に対する視点等を持つよう促す。また中長期的な計画に基づき出演者側と交渉を持つなどの対応策を検討する。 ・文化芸術分野の「一流を見て、聴いて、学ぶ」機会の提供を目的に、町の財政状況等も勘案しながら2020年度から概ね3年毎に現計予算を増額し、鑑賞機会の機会が限定される一流の演者等を招聘する。 ・令和7年度は、子どもたちに対し音楽に触れる機会を設けるとの観点から、実行委員会で協議の上、音楽鑑賞会を演目として選定した。 ・11月に開催を予定し、前年度の開催事業における反省点等を踏まえ、周知方法や入場者増を図る有効を検討する。	

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円	2,910,000	295,200	544,800	720,000	720,000
	一般財源	円	3,646,238	1,370,638	1,276,703	1,858,000	1,131,000
	事業費計	円	6,556,238	1,665,838	1,821,503	2,578,000	1,851,000

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	芸術・文化振興支援事業	所属部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約	『一流を見て、聴いて、学ぶ』更なる推進			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

[事業の概要・現状・課題]	
芸術・文化活動の振興を目的とし、小中高生が芸術・文化活動において上位大会等へ出場する機会を得た場合の経済的な負担の軽減を行う。また、芽室町文化協会、文芸誌編集委員会、めむろ子どもと人形劇を楽しむ会への補助を行う。 文化協会の活動については、所属団体・加入会員数の減少及び役員の高齢化や担い手不足という課題がある。	

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]	
継続的に各芸術・文化団体の活動支援を行う。 文化協会の現状課題解決に向け、協会の役割及び中長期的目標について協会と共有するとともに伴走支援を行い、所属団体・加入会員数の現状を把握し、活動内容に見合った補助金額の見直しを進める。	

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						/
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円			1,000,000			
	一般財源	円	1,644,158	2,765,381	3,804,298	1,753,000	1,753,000	
	事業費計	円	1,644,158	2,765,381	4,804,298	1,753,000	1,753,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

2-2-1

事務事業名	文化賞等授賞式開催事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>【事業の概要・現状・課題】</p> <p>文化活動において、優秀な成績・功績を納めた町内の個人及び団体に対し、年1回3月に授賞式典を開催する。</p> <p>【令和6年度規則改正】</p> <p>子どもたちの競技等に対するモチベーションの向上を図るため、少年文化賞、少年文化奨励賞において、上位賞である文化賞を受賞すると、その下位に当たる奨励賞は受賞できないという受賞制限について、中学校進学時に制限をリセットするよう受賞制限を緩和した。(規則改正により授賞対象となった中学生は3名)</p>
---

<p>[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授賞者の功績を顕彰・奨励するため、適切な式典運営を行う。</li> <li>・受賞者申請の際にオンラインツールを活用し、推薦者の利便性の向上を図ることを検討する。</li> </ul>
--

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	108,273	303,288	280,060	235,000	235,000	
	事業費計	円	108,273	303,288	280,060	235,000	235,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	郷土芸能メモオロ太鼓保存会活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

[事業の概要・現状・課題]

町の郷土芸能であるメモオロ太鼓を保存・継承するため、開町80周年を機に結成された郷土芸能メモオロ太鼓保存会に対して、継続して支援を行う必要がある。

会員数が減少しており、それに伴い、予算規模・会の活動の縮小化をせざるを得なくなっている。特に次世代を担う子どもの会員減少が顕著であり、会の存続に関わる課題が継続している。

温水プールの改築と総合体育館一帯の施設再整備のため、2022年3月に活動場所を芽室町勤労青少年ホームから芽室町中央公民館に移した。

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]

会の運営がスムーズに進むよう、かつ、会員の確保に向けて支援を行うとともに、発表会及びイベントへの参加情報など、会の活動を教委SNS等で周知する。

なお、会の予算が潤沢ではないため、老朽化した太鼓等の更新費用には、町からの支援が必要であり、2024年度には、企業版ふるさと納税を活用し、桶胴太鼓1基を更新購入した。2026年度には、老朽化した締太鼓(3基)の更新購入を予定している。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円					
	一般財源	円	82,920	0	0	0	0
	事業費計	円	82,920	0	0	0	0

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	ふるさと歴史館維持管理事業	所属 部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

<p>[事業の概要・現状・課題]</p> <p>郷土資料の収集・保管・展示を行うとともに、体験学習や歴史館講座等の普及活動を通じて地域の歴史や文化を後世に伝えるための拠点施設の維持管理を行う。                  施設開館から30年近くを経過し、施設設備や展示什器類に経年劣化や不具合が見受けられるほか、展示等の表記内容についても見直しが必要な部分も見られることから、中長期的な視点で計画的に更新を図っていく。</p>
--

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]

地域の歴史・文化を伝える博物館類似施設としての機能充実を図るための展示内容の見直し、来館者や職員の執務環境改善を図ることを目的とした施設の改修などを検討する。  
 改修に当たっては、活用可能な交付金等の財源に関する情報収集を行う。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						/
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	39,292	1,181,615	272,094	285,000	285,000	
	一般財源	円	4,500,788	8,807,657	7,973,976	7,565,000	7,565,000	
	事業費計	円	4,540,080	9,989,272	8,246,070	7,850,000	7,850,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	ふるさと歴史館運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

<p>[事業の概要・現状・課題]</p> <p>体験型の博物館類似施設としての特性を活かし、郷土の歴史や文化に対する理解を深めることを目的とした展示や各種講座事業、来館者によるものづくり体験に関わる事業を実施する。                  開催事業や展示内容のマンネリ化が課題となっていることから、ものづくり体験に関しては歴史館らしさを意識したメニュー作りを行うとともに、講座や特別展など郷土資料館としての役割について、町民に対するPR活動の充実を図る必要がある。</p>
---

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]

地域の歴史・文化を後世に継承していくことを目的に、郷土資料の収集保管や展示、調査研究などを行い、その成果を町民に還元することを目的とした各種講座、特別展示を開催するなど事業の充実を図る。そのための方策の一つとして、他自治体の博物館等との事業活動での連携や調査研究に関連する助成金制度の活用を検討する。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	376,718	412,805	243,637	348,000	348,000	
	一般財源	円	2,984,253	3,263,872	3,209,487	4,209,000	4,209,000	
	事業費計	円	3,360,971	3,676,677	3,453,124	4,557,000	4,557,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	中学生国際交流事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

<p>[事業の概要・現状・課題]</p> <p>アメリカ・トレーシー市との交流のため、6月にトレーシー市からの訪問団受入および3月に本町の中学生10人をトレーシー市へ派遣している。</p> <p>2019年度から2022年度のトレーシー市への訪問団派遣、および2023年度までのトレーシー訪問団来町については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた。</p> <p>トレーシー側と相互の意思疎通を継続的に実施する必要があると感じる。</p> <p>また、派遣費用の高騰により、町の負担及び自己負担(3割負担)の増加が懸念される。</p>
---

<p>[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]</p> <p>引き続き相互派遣交流の実施のため、トレーシー市姉妹都市協会との連携を図る。より多くの中学生の研修参加意欲を引き出すような、研修の企画・運営を進める。</p>
---

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円		1,000,000	1,574,100	1,651,000	1,651,000	
	一般財源	円	0	6,207,928	6,128,467	6,446,000	6,446,000	
	事業費計	円	0	7,207,928	7,702,567	8,097,000	8,097,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	公民館運営事業	所属部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

**〔事業の概要・現状・課題〕**

各種公民館講座及び指定管理者が実施する自主事業の企画・実施にあたり、指導助言を行う。指定管理者との連携を密に図り、生涯学習の拠点施設としての役割を理解し、多様化する町民ニーズを反映した公民館運営を行う。

**〔2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法〕**

指定管理者の事業提案の内容を踏まえ、公民館講座や企画展示、自主事業など各種事業に対する指導助言を行う。  
社会教育主事を行政と指定管理者、各種活動団体との橋渡し役として活用を図る。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円					
	一般財源	円	0	0	0	0	0
	事業費計	円	0	0	0	0	0

2025 年度（2024 年度実績）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	公民館施設維持管理事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約	社会教育施設の長寿命化			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 住民の様々な生涯学習活動や発表の場を提供するため、施設の維持管理を行う
2. 対象(何を対象にしているか) 町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民の生涯学習に対する要望に応えるため、施設の適正な維持管理を行う
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 町民が生涯学習に取り組むことにより、心豊かな地域社会が実現し、住みよい地域づくりに繋がる

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定

(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 開館日	日
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 町民数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 公民館の利用者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	%
② 文化活動がしやすいと思う住民の割合	%
③	

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民の様々な生涯学習の活動や発表の場を提供するため、適切に施設の維持管理を行う。昭和56年の開館から40年以上が経過し、施設自体の経年劣化が進行していることから、指定管理者との連絡を密に図りながら計画的に施設整備や備品等の更新などを行っていく必要がある。	2. 今後の取組 (2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法) ・令和7～11年度までの5年間の指定管理業務を担う事業者との連絡調整を密に図り、社会教育活動の拠点施設として多様化するニーズを的確に反映した各種講座等を実施し、町民の主体的な学習活動の支援に繋げていく。 ・中長期的な視点に基づき、計画的な施設修繕等を行い、施設の適正な維持管理を行う。 ・令和7年度に施工する自動火災報知設備設置及び自家用発電設備設置工事を的確に遂行するため、関係課、施設管理者との連絡調整を密に図る。
--	---

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円			40,100,000		
	その他(使用料等)	円	6,121,721	22,135,849	4,380,554	3,897,000	3,897,000
	一般財源	円	49,347,581	43,548,647	50,226,562	57,676,000	57,676,000
	事業費計	円	55,469,302	65,684,496	94,707,116	61,573,000	61,573,000
活動指標	①	日	284	353	351	351	351
	②						
	③						
対象指標	①	人	18,117	17,837	17,654	17,654	17,654
	②						
	③						
成果指標	①	人	48,162	59,588	62,664	62,664	62,664
	②						
	③						
上位成果指標	①	%	76.0	77.3	80.9	80.0	80.0
	②	%	73.0	70.1	73.0	78.0	78.0
	③						

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	文化財保護管理事業	所属部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

[事業の概要・現状・課題]	
町内に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地等の状況を的確に把握することで、開発行為等の計画段階で提出される埋蔵文化財保護のための事前協議に対し、適切に対応していく。	

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]

町内で行われる開発行為に対し、文化財保護の観点から事前協議等に伴う調査等は、北海道教育委員会発出の「土木工事等に伴う埋蔵文化財保護の流れ」に準拠して適宜対応する。調査の実施にあたっては専門的な見地からの判断を要することから学芸員資格(考古学)を有する職員が対応する。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円					
	一般財源	円	0	1,716,000	847,000	0	0
	事業費計	円	0	1,716,000	847,000	0	0

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	学習支援事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

**【事業の概要・現状・課題】**

知識や経験のある人材を教育コーディネーターとして配置し、社会教育の各分野において直接指導・助言等を行う。  
 「めむろ柏樹学園」の運営、青少年健全育成協議会運営支援などを担う。  
 教育コーディネーターの採用に当たり、知識や経験のある人材の確保が必要。

芽室町総合情報誌「すまいる(大地くん)」や町の公式SNS等を活用し、町の教育情報を周知し、教育・スポーツ・公民館・図書館に係る情報を発信する。  
 活字離れが進む一方で、紙媒体を好む世代もいるので、幅広い世代に届ける、時代に即した情報発信を推進する。

**【2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法】**

教育コーディネーターについては、良い人材を集めるための工夫が必要。令和6年度から報酬を1級49号俸から73号俸に増額し、雇用の安定化を図っている。  
 情報発信については、情報収集のアンテナを持ち、適切なタイミングで適切な情報を適切な媒体で発信することを心掛ける。また、広報誌面については、情報は簡潔に目に留まる構成を心掛ける。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円	555,000					
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	1,132,504	266,762	162,821	357,000	357,000	
	一般財源	円	10,972,577	5,282,100	5,779,131	6,920,000	6,920,000	
	事業費計	円	12,660,081	5,548,862	5,941,952	7,277,000	7,277,000	

2025 年度（2024 年度実績）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	コミュニティ・スクール運営事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約	コミュニティ・スクールの充実			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 地域学校協働活動(学校支援ボランティア、地域学校協働活動本部会議)、学校運営協議会へのCSコーディネーターの参加。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 保護者や地域住民等が児童生徒や教育活動に積極的に参画してほしい。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 子どもたちの学びや体験が充実するとともに、地域の人と人のつながりも深まり、持続可能な町づくりにもつながる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定

(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① ボランティア実施回数	回
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① ボランティア登録者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① ボランティア参加人数	人
② 地域学校協働本部会議の開催	回
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 地域学校協働活動に参加した学校数	校
②	
③	

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ①地域全体で子どもたちが育てられる安心感を持つ地域学校協働活動コミュニティの拡大 ②学校への学校支援ボランティア活動の理解浸透及び活動の充実 ③学校課題の解決及び地域コミュニティの醸成につながる活動内容の質の向上	2. 今後の取組 (2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法) ①活動の成果を明確に届ける周知・発信方法の実践(SNS活用、CS通信、実践資料作成、成果発表会実施) ②教育コーディネーターの活用 ・学校からの要請による学校支援ボランティアの調整業務(要請に適した人材及び支援内容の調整) ・ボランティア活動に関する学校との打ち合わせや活動の振り返り(担当校との年間計画の共有) ・教育コーディネーターからの提案(計画的な学校訪問、担当校以外の学校の活動への参画) ③・地域学校協働活動による成果を明らかにするためのPDCAサイクルの確立(各校代表する事例をまとめた実践資料集へ各学校の評価を明記) ・関連事業及び組織との連携についての検討(例:ジモト大学、芽子連、町内会等)
---	--

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円		710,000	549,000	808,000	808,000
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円		822,766	575,567	313,000	313,000
	一般財源	円	0	6,250,670	7,902,496	3,773,000	3,773,000
	事業費計	円	0	7,783,436	9,027,063	4,894,000	4,894,000
活動指標	①	回		120	103	120	120
	②						
	③						
対象指標	①	人		112	129	129	129
	②						
	③						
成果指標	①	人		352	332	350	350
	②	回		3	3	3	3
	③						
上位成果指標	①	校		7	7	7	7
	②						
	③						